

国立国語研究所学術情報リポジトリ

愛知県小牧市藤島方言

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2020-10-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 国立国語研究所 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00003030

方言録音資料シリーズ—10

愛知県小牧市藤島方言

国立国語研究所編

1 9 6 8

このテキストは、方言研究用の資料として作られたものである。方言の録音方法、方言の表記の方法などのあらましについては、別に作った「方言の録音とテキストの作成について」（国立国語研究所話しことば研究室編）を参照されたい。

ここに収めた方言の録音とテキストの作成は、国立国語研究所話しことば研究室のもとめに応じて山田達也（名古屋市立大学助教授、国立国語研究所地方研究員）がおこなった。

もくじ

収録地点とその方言について 2

表記について 3

本 文

1. 昔 と い ま 5

2. 昔 の 祭 り 24

注 29

収録地点とその方言について

1. 収録地点名：愛知県小牧市藤島

2. 収録地点の概観

もと西春日郡北里村に属し、名古屋の中心より北方約10km、米麦を中心とした尾張部の平均的な農村部落。名古屋から名古屋鉄道犬山線で約30分、岩倉下車、東南へ歩いて30分。昭和38年に編入された小牧市の中心へは歩いて40～50分。交通の便が比較的悪く、純農村の面影が濃かったが、最近は近くに団地、工場等が出来、ようやく都市化の波が押寄せつつある。

3. 収録した方言の特色

藤島方言については、国立国語研究所「日本方言の記述的研究」のなかの野村正良氏の「愛知県西春日井郡北里村」に全般的な記述がある。収録した部分についていえば、最大の特徴は、[æ, œ, y]で表記した変母音であるが、その他文法事項としては *naqtēmau* (なっててしまう：完了), *s̥jonise:seN* (本当にしない：打消), *ik i(j)orū* (行きつつある：進行), *(ik i(j)o-qta* (行ったものだ：回想), *jaqtōru* (やっている：状態), *jaqtoraqseru*, *jaqtorasita* (やっておられる、やっておられた：敬語) のような派生語関係、男子の使う、断定・意志等をやわらげる終助詞 *wa*、理由の接属詞 *de* (から) なぞが特に注目される。

4. 地点選定の理由

名古屋近郊の尾張地区農村の言葉として平均的なものであるというのが選定の理由である。

表記について

[指定の字母以外に使用した字母、および補助記号]

字母・補助記号 記号の種類	語	例	(標準語訳)
æ	h æ : (p. 6)		(無い)
œ	o œ : (p. 5)		(多い)
y	suqkokiniky : (p. 22)		(梳きにくい)

- 表記は音素的であるが、方言の特色あるものについては、きわめてブロードな音声的表記とした。
 - 〔ə〕, [œ], [y]の三者は音素表記をせずにそのままとした。
 - 〔ə〕は〔ɛ〕〔ɛ̄〕〔ɛ̄̄〕とおもわれるものを含む。〔œ〕は、これよりせまい〔ɸ〕を含む。〔y〕は〔ȳ〕のように二重母音的なものも含む。〔œ〕, [y]とともに左右からのくちびるのせばめが少なく、それそれ〔ɛ〕, [ɛ̄]のような中舌音に近いばかりがかなりある。
 - 文節ごとの分かち書きとしたが、二文節の融合したものは統合してしした。
 - 聞き手となった山田達也(編者、略号Y)の発言は、主旨だけを「」にいれて漢字かなまじり文でしした。(実際は藤島方言で発話)

1. 昔 と い ま

録音日時 1967年8月28日

録音場所 愛知県小牧市大字藤島

字居屋敷 山田正子氏宅

話し手

(略号)	(氏名)	(性別)	(生年)	(職業)	(居住歴)
W	加藤桑三郎	男	明治21年生	農業	藤島のみ
M	加藤桑三郎	々	々 23年生	々	々
Y	山田達也 (編者)	々	大正14年生	教員	藤島 1才~8才, 名古屋 9才~

解説: 部落の編入のことから交通の便, 通学, 労働の話とうつり, 今年の稻の害, はまきのこと
に終っているがこの間, 随所に今と昔の比較がされている。

なお, 会話はYが聞き役となってW, Mの話を聞くという形で進むが, 最後はWとMだけ
の対話となる。

W hora komakii cukukata nagojæ: cukukat e ja:
それは 小牧へ つくか 名古屋へ つくかと言えば,
nagojæ: cukuhō: ya mirjoku…… nagojanoho: ya
名古屋へ つくほうが 魅力……。 名古屋のほうが
mirjoku ya oe: dena
魅力が 多いでな。

M hæ: nagojæ: cukja sunto ano pasuo mazu
もう 名古屋へ つけば すぐと あの バスを まづ
tojojamademo moqtekurumondejo: komakidewa
豊山(の場合)でも もってくるのでねー。 小牧では

hubendawa
不便だ。

Y 「いま, そうするとどうやって行くんですか, 小牧は?」

M komaki zju: sanzukakara pasuN aru dakede
小牧は 十三塚から バスが ある だけで,

mæ:de naN nimo næ:de kaN hubendawana
(ほかはなにも)無いで なにも 無いで いかん。不便だ。

W hora nayojanohæ:ða beN riN arude
そりゃ 名古屋のほうが 便利が あるので。

M hN: si jakusjomaede orosujon naqt oruwana
ふんん 市役所前で 降ろすようになっている,

zu:qt o joqporo icizikan ano: hacizi kuziwa
ずっと よほど, 1時間 あの 8時・ 9時は

s aN b o N ðuræ: arude icizikan ni s aN b o N ðuræ:
3本ぐらい あるので, 1時間に 3本ぐらい

arukedo ma:
あるけれども,

W ni q c ju: wa i qponhoka næ: komaki ikiwa hubendawana
日中は 1本しか 無い。小牧行きは 不便だ。

wana horeka: iwakura: mawaq..... iwakuræ:
それが 岩倉を まわって 岩倉え

mawaruni temaN kakarusi
まわるに 手間が かかるし。

Y 「電車は無くなつたと聞いたが。」

M deNs jaa no: naq temaq tawana icinomijamo
電車は 無くなつてしまつた。 一宮線も。

W deNs jawa toriaqete
電車は 取上げて,

M komakimo
小牧線も。

Y 「一宮も無くなつてしまつた?」

M e: pasuN naq c jaq ta sonoho: ða beN ridawa
ええ バスに なつてしまつた。 そのほうが 便利だ。

tokinasi: ano pasuwa dasudena saqsaq saq-
時間なしに あの バスは 出すのでな サッサッ サッ
saq t o okjakuya arisidæ: dasude
サッと お客様 あり次第に 出すので。

Y 「ああ そうですか。」

M e: ma: deNsja maqt oqte deNsjae kjakuN kuru-
ええ もう 電車を 待っていて, <電車へ>, 客が 来る
to cuqto noserusi jo: hora pasunoh:ga zi-
と スーット 乗せるし なあ。そりゃ バスのほうが 自
juN jorosi:wa deNsjamicio hasirakasujo:ni
由が よろしい。 電車道を はしらせるように
mukasino deNsjamici minna pasudo:roni site-
昔の 電車道を 皆 バス道路に して
maqt ade
しまったので。

W ma: doq cikato ju:to kawaqtakotowa ima:
もう どちらかと いうと 変わったことは, いま
kociraga mukasibansi seruto hazukasi:buræ:
こちらが 昔話を すると 耻ずかしいぐらい
da (笑) jono nakan naqtesimaqta keredomo
だ 世の中に なってしまった。 けれども
se:kacut ositewa do:mo mukasino ho:ga jutori-
生活としては どうも 昔のほうが ゆとり
ga arujo:na kiyas eru imawa ma: hontoni
が あるような 気がする。 いまは もう 本当に
tokæ: kasite kane kane kane kane (笑) kane ga
都会化して, 金, 金, 金, 金 金が
dæ:iciN naqtemaqtawa
第一に なってしまった。

Y 「人の気質も変わって来ますねえ。」

W e: e kawaqtawa na: ma: imawa kawaqtakoto
えええ 変った ねえ。 もう いまは 変わったことを
ucide hanæ:taqte kodomotor: sjo:ci (笑)
家で 話しても 子供達が 承知
honnakoton aqtakato ju:hu:n i sjo:cise:seNwa
そんなことが あったと いうように 承知しない。

Y 「今学校はありますか。皆やっぱり子供さん達そろって行くのですか？」

M ho: desu mæ: asa z ju: saNZukamade: cu: o jaN
そうです。 每朝 十三塚まで 親が

okuridasuda ano: kuruma y a ooe: de ga qko:
送り出す。 あのう 車が 多いので 学校……

z ju: saNZukano jocucuzimade okuridæ: te hode
十三塚の 四辻まで 送り出して、 それで

a q c i k a r a kuruma a s o k o n o jocucuzi abunæ: moN-
あちらから 車……， あそこの 四つ辻は あぶないの

de hutari: cu na: kawaribande mai-as a okuri-
で 二人づつ ねえ 交替で 每朝 送り

d a s a n n a r a N
出さなければならん。

W e: horja: sono d a N c i n o d a N p u y a mæ: asa naN-
ええ そりゃ その 団地の ダンプが 每朝 何

bjakudæ: to to orumonde na: i ci N c i n i jo: hode-
百合と 通るので ねえ 一日に ねえ。 それで

wa abunæ: de te q te cu: o a k u r o m o w a z a t o c jo q t o
は あぶないといって 通学路も わざと すこし

i n a m i n t o k o r o: t o o q t e h o d e o q k a s a N a h u t a r i:-
南のところを 通って、 それで 母親が 二人

cu goe: s i t e i k i j o q t a
づつ 謹衛して いきました。

M was in o h o: wa o k a y e d e m a z u a n o: h i t o r i m o
わしのほうは おかげで まづ あのう 一人も

z i k o w a næ: de e: a r i y a t æ: w a n a e: m a: n i z i q-
事故は 無いで ええ 有難い ええ。 まあ 20

c jo: mo a j o b a N n a r a n d e e r æ: w a n a g a q k o :……
町も 歩るかなければならぬので 大変だ。 学校……

Y 「20町ありますかあれ。」

M m a: n i z i q c j o: wa a r u w a n a: k o c i r a N h a q c j o:
まず 20町は ある なあ。 こちらが 8町

muk o: z ju: n i c j o: t o i j o q t a n n i z i q c j o: w a n æ:
むこうが 12町と 言ったが 20町は 無い

m a: z ju: h a q c j o:
まあ 18町……

W z ju: h a q c j o: ð u r æ:
18町ぐらい.....

M z ju: h a q c j o: ð u r æ: w a a r u w a n a: e:
18町ぐらいは あるわなあ ええ。

Y 「何かしらないが子供の時速いと思いましたが、わたしが一年生にあがったとき……子供の
気持では速いと思いましたが……」

M h o r a t o: o e: w a n a: i m a w a s o r o q t e i k u d a d e c i: -
そりゃ 遠いわなあ。 いまは そろって 行くので 小
s æ: k o d o m o e r æ: w a h a s i q t e m a: s i o n s a N k a t a n o
さい 子供は 大変だ、 走って。 もう しおんさん(人名)ところの
k o d o m o w a j o: h a s i r i z u m e d a w a c i: s æ: d e e r æ:
子供は 走りづけだ。 小さいから 大変な
k o q t a w a
ことだ。

W h o d e j o: c i e N w a k i t a z a t o n i l a q t e m o j o: i k a N w a -
それで 幼稚園は 北里(村名)に あっても 行くことが出来
n a: s o n o n o h e: e i q t e s i m a q t e
ん 曾野(部落名)のほうへ 行ってしまって。

M i w a k u r a c j o e i q t e m a q t a
岩倉町へ 行ってしまった。

W s o n o n o z i n s e: i i n g a
曾野の 神清院が

M o t e r a d e j a q t o r u d e
お寺で やっているので。

W w a t a k u s i r i c u n o j o: c i e N o j a q t o r a r e r u w a n a
私立の 幼稚園を やっておられる。

s o k o e: m i n n a i q c j a u w a a N m a r i t o o e: d e n a
そこへ 皆 行ってしまう、 あまり 速いので。

izure kode danino ga dekiruto kono huzisi
いずれ これで 団地の…… が 出来ると この 藤島

mano ho:men nimo hitocu dekirudaro keedomo
の 方面にも 一つ 出来るだろう けれども、

ima - genzæ: wa so:ju: zjo:tæ:de
現在では そういう 状態で……

Y 「幼稚園なんか夢のようで、昔遊んでくれたものは蛇やギャーロで……。」

W ma Nda wasi ntora: no zidæ:wa ga qko: tju:mo Nno
未だ わし達の…… 時代は 学校というものの

hontoni mini cy:torande kakure asubi kakure-
本当に 身に ついておらんので、 かくれ遊び かくれ

asubite iqte na: bento: mo qte uciwa deruke-
遊びと いって 弁当を もって 家は 出るけ

redomo tocju: de kakure te
れども 途中で かくれて……

M ma: hucu: no monodewa sjo: qko: jone N se:
まあ 普通の 子供では 小学校 4年生

ikunara ha: si qoto sen nara N sjo: qko nana-
いくなら はや 仕事を せなならぬ。 小学校 七

cukara iqte ma: nanacuja ja qcude ikuda hode
つから いって、 まあ 七つ 八つで いくだ。 それで

sjo: qko jone N: ikunara ucide si qoto bowa-
小学校 4年生 いくなら 家で 仕事 ぼわれて

rete mukasino okæ: kono ami andari jo: nawa
(いそがしくいられて) 昔の おかいこの 綱 あんだり 繩

naq tarise narananda
なったりしなければならなかつた。

Y 「あの時分から同じところですか、学校の位置は。」

M ho: da sjo: qko: wa zju: sanzukani aq taden
そうだ 小学校は 十三塚に あったで。

sore wa komakimura takimura misi N de Nto wasi-
それは 小牧村 滝村 已新田と わし

noho: to ano aza i c u c u u r æ : n o s j o : ɿ a q k o : ɿ a
の方と あの 宇 五つぐらいの 小学校が

asukoni dæ: b u N o : k i : s j o : ɿ a q k o : ɿ a a q t a
あそこに、 大分 大きい 小学校が あった

W h o d e k o : t o : ɿ a q k o y a n i s i k a s u y æ : d e m i q c u
それで 高等学校が 西春日井で 三つ

a q t a w a n a : h o k u b u n i s e : b u t o : b u t e q t e o : z o -
あった。 北部に 西部 東部といって 大曾

n e k i n z j o m o n i s i k a s u y æ : d a q t a d a r a o : z o n e k i n -
根近所も 西春日井だっただろう。 大曾根近

z j o ð a t o : b u t e q t e a r e w a s i n k a w a n i a q t a n d a w a -
所が 東部といって あれは 新川に あったのだ。

n a h o d e h o k u b u t e q t e m u c u s i n i w a s i n t o r a :
それで 北部といって 六ヶ師に わし達が

i k i j o q t a t o k o r o y a a q t a k o : t o : - g a q k o t e q t e m o .
行きおった ところが あった。 高等学校 いっても

s o n o z i b u N k o : t o : s j o : ɿ a q k o : t i j o q t a k e d o m o
その 時分 高等小学校 といったけれども

n i r i y u r æ : k a k e t e k i j o q t a w a n a : i m a n o g a k u d o : w a
2里ぐらいの 範囲から 来たものだ。 いまの 学童は

s o r j a t o ð e : t o ð e : t o j u : k e e d o m o s o n o k o : t o : -
それは 遠い 遠いと 言うけれども その 高等

ɿ a q k o : w a n i s i k a s u y æ : n i m i q c u d a m o n d a d e t o ð e : -
学校は 西春日井に 三つだったので 遠い

k o t o w a n i r i y u r æ : a r i j o q t a h o d e w a s i n t o r a : n o
ことは 2里ぐらい ありょった。 それで わし達の

z i d æ : n i n a k a n o y o : t o j u : t o k o k a r a k i j o q t a k e d o j o :
時代に というところから 来たものだが、

s o k o n o g a k u d o : - j a n a n k a w a r a z i h æ : t e k i j o q t a
そこの 学童やなんか わらじ はいて 来たものだ。

(笑) t o ð e : m o n d a d e n a : w a r a z j o r i m i t æ : k i r e c j a -
遠いものだから なあ、 わらじみたい 切れてしまう

ude warazzo: hæ: te kij oqta amehuri jananka
うので、わらじを はいて 来たものだ。雨降りやなにか

warajo hæ: te to: ko: si joq tamonda
わらじを はいて 登校しようたものだ。

M ho: da sense: demo muranakakara kijor asitaga
そうだ、先生でも 村中から こられたが

tekutekuto ajobide
テクテクと 歩きで……。

W ajo N dena: (笑) ju: sene: da muranakakara
歩いてなあ ... (不明) という 先生が 村中から

kijor asitaga
これそれたが……。

M icirihanka niri: sene: mæ: asa ajo N de osie-
1里半か 2里 先生 每朝 歩いて 教え

ni konnarana N da
に 来なきゃならなかつた。

Y 「その時分は名古屋へどうして行ったのですか？」

M e na ñ ojæ: datote ano koqkara acutaz i N s ja made
え 名古屋へだとて あの ここから 热田神社まで

a N ta ajobi ba qkade ikudakeda warazzo cukuq-
あんた 歩きばかりで 行くだけだ。 わらじを 作って

toe: te warazi hæ: te iki modori i qte na ñ ojano
おいて わらじを はいて、 往復 行って 名古屋の

dæ: ko: basi kara acu damade
大幸橋から 热田まで……。

W hune N noqte
舟に のって。

M sorekara hune: horikawa o hune de iki joqta
それから 舟で 堀川を 舟で 行くのだった。

so: sanse N de horikawa (笑) sanse N de iki joqta
そう 3钱で 堀川を 3钱で 行くのだった。

W hode ano acutano hi⁹asi nisi toricuki joqtwa
それで あの 熱田の 東 (いや) 西 とりつくのだった。

na: wasintora: iki joqta zibunwa nisendaqta-
わし達が 行った 時分は 2銭だった

kasira dæ:ko: basijori maqto simodaqtawana
かしら、 大幸橋より もっと 下だったわな。

M ho:da ho:da nisen honde
そうだ そうだ、 2銭。 それで、

W nisenka sansende
2銭か、 3銭で。

M basjawa o:sukara acutamade gosendadena
馬車は 大須から 熱田まで 5銭だから、

gosenwa eræ: deteqte minna bunede ano: sendo:-
5銭は 大変だといって 皆 舟で あのう 船頭

bunedena ano: iki joqta
舟で あのう 行ったものだ。

W atowa
あとは……

M ajonde anta
歩んで あんた、

W sikata næ:de warazi:
しかたがないので わらじを、

M ikimodori mazu:
往復 まず、

W warazjori hæ:te cy: tekijoqtawana wasintora:
わら草履を はいて ついていった。 わし達……

M rokurika hiciri ajonde tekutekuto icinciga-
6里か 7里 歩いて テクテクと 一日が

karide iki joqtawana na⁹ojæ: ikunoni sorede
かりで 行ったものだ。 名古屋へ 行くのに、 それで、

imano sjo:næ: ðawa hasi⁹a kore hasicin⁹a
いまの 庄内川、 橋が、 これ 橋賃が

do: demoko: demo ikimod oride iqse Ncu gori Ncu
どうしても 複きもどりで 1錢ずつ(いや) 5厘ずつ

dejoqta dena hode nadojæ: iqte zeni cukaqte-
でたので、 それで 名古屋へ 行って 錢 使って

maqtewa hasiN watarene (笑) gori Nwa nokoe:-
しまっては 橋が 渡れんので 5厘は 残して

tokana ikaN tijoqta sonoguræ: no zikidaqta
おかな いかん といったものだ。そのぐらいの 時だった。

nadojæ: iqta tote zénino cukæ: zeni nisen
名古屋へ 行ったって 錢の, 小使銭に 2錢,

nisen mora quræ: no kotodaqta nisenka sanseN
2錢 もらうぐらいのことだった, 2錢か 3錢。

Y 「1錢はすごい価値でしたでしょう。」

W e: e iqse N a to: tokaqta wa
ええ 1錢が 尊とかった。

M mukasiwa kaNe: cu: o: to sitaru icirin toju:
昔は 寛永通宝 としたる 1厘という

zenikara bunkju: icirin gomo: horekara niriN
錢から 文久 1厘5毛 それから 2厘

ti ju: daqta ame i qpon kaundemo anta ano:
というだった。 餅 1本 買うでも あんた あのう

biwazimakara pi: h jara pi: h jarato ameo uru-
批把島から ピーヒャラ ピーヒャラと 餅を 売り

nikite kide hecukete nobasi j oqta N iqpon
にきて 木で へつけて のばした, 1本

ici icirin c u d a q t a n a: e: kodomon o j osu.....
1..... 1厘だったでなあ ええ 子供の (不明)

minna icirin uci: moræ: ni hasiqte sono
皆 1厘 家へ もらいに 走って その

pi: h jara kawaN naran: (笑) sonnakoto ima:
ピーヒャラ 買わんならん そんなこと いま

hanæ: tatote honman naresen
話しても 本当に ならん。

W mukasiwa zeniga to: tokaqtawana:
昔は 錢が 尊とかった。

M ma: imawa kanemo dadakusada mada tæ:sjo:ni
もう いまは 金も そまつだ。 まだ 大正に

naqtetekarada: anta: kom komega: iqqjo: joen-
なってからだ あんた こ、 こめが 1俵 4円

haciziqsenquræ: nomonda iqqjo: ba joen haciziq-
80銭ぐらいのものだ。 1俵が 4円80

sen sorede mæ: ya iqqkanme goendade kome:
銭。 それで まゆが 1貫目 5円だから 米を

jarujo: nakoqtekan okæ:ko toranakan teqte
やをようなことではいかん, かいこを とらないかんといって

iqsjo:keNme: kokora:wa jo:zandokoni naqt-
一生けんめい ここらは 養蚕所に なった

mondesu
ものです。

W ho:da takæ: tokiwa mæ: iqqkanmeto kome iqqjo:-
そうだ, 高い 時は まゆ 1貫と 米 1俵
to
と (不明)

M komejoka mæ: iqqkanmenon takakaqtakoton aru
米よりか まゆ 1貫目のほうが 高かったことが ある

W hode tanbozju: hatatoju: hata kuwabata n
それで 田んぼ中 畑という 畑 桑畑に
naqcimaqtawa na:
なってしまった。

Y 「小さい時おばあさんがこの辺でかいこをかっていたような気がするが……。」

M kaqtorasita
かっていた。

W ka q tora i ta
かっていた。

W ma: okæ:kowa dokodemo oran tokoro næ:jo:ni
もう かいこは どこでも いない ところ ないように
ori joqta hode okæ:kono sakari dati ju:to mo:
おった それで かいこの 盛りだというと もう
kuu tokoroða nakari joqta wa na: zenbu uci n-
食う ところ なかった なあ。 全部 家の
naka medæ:⁽²⁾ tate temaqta horja zju:ro:do:
中に め台を たててしまった。 そりや 重労働と
i q temo hjakusjo:wa hjakusjo:wa zju:ro:do:ni
いっても 百姓は、 百姓は 重労働に
nare toruða okæ:koquræ: eræ: koto wa naka qta-
慣れているが かいこほど 大変なことは なかった。
wa na: jo:sarimade jara nnaran joqwa⁽³⁾ hokoe
夜まで やらなければならん。 夜桑、 そこまで
hitokuwa⁽⁴⁾ cukura nnaran joqpro: nacuno iqsjo:-
ひと桑を つくらなければならん。 よほど 夏の 一生
keNme: jaq temo zju:icizika zju:nizimade
けんめい やっても 11時か 12時まで
nari joqta wa na: hode hja: asawa mata kuwao
なったものだ。 それで もう 朝は また 桑を
karini oki nnaran okæ:kono jone: gore:ti-
どりに 起きんならん。 かいこの 4歳 5歳と
juu daq takedo sono zibunno mo: erasati ju:ko-
いうだっだけれど、 その 時分の もう 大変だというこ
towa imakara miruto jumemita:na jo: karada-
とは 今から みると 夢のようだ。 よく 体
ja cuzy:tana:to omo:quræ: jaqta wa na: (笑)
が つづいたと 思うほど やった
giming amande asokoða gozi qkaN toraqseru
むりに我慢して、 あそこが 50貫 取る

kokoga rokuzi qkan toraq seruto ju: de makenkin
ここが 60貫 取るというので 負けん気に

naqte iqsjo: keNme: jaqtandakedo imakara
なって 一生けんめい やったんだけど いまから

omo:to jumemita: nakotoda honnakoto musu....
思うと 夢みたいなことだ。 そんなこと むす....,

kodomontara: ni hanæ: temo sjonise: senwana
子供達に 話しても 本当にせん。

M toroe::kotoo jaqtorasitamonda teqtoruðuræ: no
阿呆なことを やっていたものだと いっとるぐらいの

kotode
ことで

Y 「小さい時桑の実を食うのがうれしかったが、……いまは桑なんか全然ない、もう？」

W ho:da ma: no:naqtana:
そうだ。もう なくなったなあ。

M ma: kono murawa no:naqtana: ma: kono heN-
もう この 村は 無くなったなあ、 もう この 辺

wa nisikasugæ:wa ma: hotondo kuwabatawa
は 西春日井は もう ほとんど 桑畠は

næ:na ma: niwabuN ikja mada johodo aruðana
無い。 丹羽郡へ いけば まだ よほど あるな。

e: ko:nansiwa okæ:koo manda johodo kaqtoru-
ええ 江南市は かいこの まだ よほど 銅ってい

wana
る。

W cikaboro mata okæ:kono sæ:sanda i:rasiwana
近頃 また かいこの 採算が いいらしい。

M totemo itoga takanaqtadena
とても 糸が 高くなったので。

Y 「やり方も全部かわってきちうでわねえ。」

W e:e mukasikara miruto oðæ:mjø:ðurasidakedomo
えええ 昔から みると お大名暮しだけど、

sore so: to omo e se N ña imanomo n owa o ñ or i N
そうと 思わないが。 いまの者は おごりに

nare to rude jo: cjo q t omo na ñ d i t i ju: koto o
慣れとるので、 少しも 困難ということを

s i r a s u t o s o d a q t e k i t o r u m o n d e m u k a s i : s e n s o : -
知らずに 育ってきているので、 昔、 戰争

k a r a s j o k u r j o : n o s u k u n a k a q t a z i d a e : k a r a
から 食糧の 少なかつた 時代から

m i r u t o j u m e m i t a e : n a o : s a m a ñ u r a s i d a w a n a :
みると 夢みたいな 王様暮しだ。

M so: da o j a n o z æ : s a N u q t e m i N n a n a ñ d e k a d e
そうだ。 親の 財産 売って、 皆 いろいろと

(5) k a k a r u m o n d e n a (笑) m i N n a : a n o : z i : u q t e
かかるのでな 皆 あのう 地を 売って

h u s i n j a q t a r i n a ñ d e k a c u k u r u ñ d a k e d o m o m u k a -
普請 やつたり いろいろ 作るけれども、 昔

s i n o m o N w a h i t o s e d e m o s e : d æ : t e j a q t e h i t o -
の 著は 1敵でも せいだして やって 1

s e d e m o k a q t o k i t æ : k a q t o k i t æ : t o j u : i m a w a
敵でも 買っておきたい、 買っておきたいと いう。 いまは

h a n t æ : d a w a a : h j a k u s j o : w a o : z e j o k e a r u t o
反対だ。 ああ 百姓は 大勢、 よけい あると

k u s a N h a e r u d e d o m u n a r a N m a : a r e u q t e i c i m æ :
草が はえるから いやだ、 まあ あれ 売って、 1枚

u q t e j a r j a : z e : k i N ñ a d e r u d e s o r e j o k a u c i d e -
売って やれば、 税金が 出るから それより 家で

m o c u k u r a n a k a N n a n z o k a w a n a k a n t e (笑) a :
も 作らないと いかん 何か 買わな いかんて、 ああ

d o : ñ u d e k a s u m i N n a s o : j u h u : N n a q t e m a q t a w a n a
道具 作る、 皆 そういうふうに なってしまった。

Y 「しまいにはこの辺どういうふうになるだろう？」

W do: naru sira nna: ma: (笑) mukasiwa deNzio
どう なる しらんなあ もう 昔は 田地を
urucju:to naNaka siraN asoko o deNzi uraq-
売るというと なにか しらん あそこが 田地を 売る
seru yena teqte cjoqto hazukasi: quræ: da qta
そうだ といつて すこし 恥ずかしいくらいだった。
ma: imawa he:kide deNz i uqta zjenide se:ka-
もう いまは 平氣で 田地を 売った 錢で 生活
cusiteku (笑)
をしていく。

M sor ja mukasiwa hito se demo e: kaqte kaqte q
そりゃ 昔は 1敵でも いい、買って 買って
teqtejo: ano: jaqtamondan ma: kodomo so:
って あのう やったものだが。もう 子供が そう
ju:de ojano mori sedemo e: joni narutoju:-
いうで、「親の 守りを せんでも よい 世に なる」という
jo:na hakuzjo:na tokini naqtekitamondade na:
ような 薄情な 時に なってきたので なあ,
ojamo ma: sore ðani seru hicujo:mo no:naqte-
親も もう それだけ する 必要も 無くなって
kit a mada hon demo inakadewa johodo hon na
きた。まだ それでも 田舎では よほど そんな
oja sutetarujo:na monowa suku nae: jono naka da-
親を 捨ててやるような 者は 少ない 世中だ。
wa, na: sore demo mi nna kjo: bino musumewa a:
それでも 皆 いまごろの 娘は ああ

W babanukitojara (笑)
ばば抜きとやら
siso: ða kawaqtekitawa na:
思想が 変って来たなあ。

M joga kawaqtekitade
世が 変ってきたので。

M kodomo no hutari san ni aruto a: "kore dewa
子供の 二人三人 あると ああ これでは

eræ: tewa nara n sor ja oba: sa nni ja qkæ:
もたん といわんならん。 そりゃ おばあさんに 面倒を

bucuketokerukedomo⁽⁶⁾ so: ju: wakeni ika nwa na:
ぶつけておけるけど そういう わけに いかん。

Y 「米やなにか 昔よりよけい取れるようになったですか？」

M komekana so: mukasiwa sor ja koeo jo: sena n-
米かな。 そう 昔は そりゃ 肥を すること

dadena koewa
が出来なかつたでな。 肥は……

W koeo sena nade gæ: cju: to ju: monoo cjoq tomo
肥を しなかつたので、 害虫というものを すこしも

sjo: dokuto ju: kotoo sirana nade ta n bode
消毒ということを 知らなかつたので 田んぼで

musiq kerani kuware qc jai joq ta
虫けらに 食われてしまった。

M kjo: biwa hora ma: sjo: dokumo jarusina: ma:
いまは そりゃ まあ 消毒も やるし、 まあ

ano: ko: sakawa a n mari jarademo hora mukasi-
あのう 耕作は あまり やらなくても そりゃ 昔

guræ: wa jok jokawa joke toreruwana
ぐらいは よ、 よりは よけいに 取れる。

Y 「だんだん手間を省いては……」

W e: temao hab yite tasanno hode ko: sakuto ju: ko-
ええ 手間を 省いて 多産の、 それで 耕作というこ

too dæ: nini site sjo: dokuo dæiici ni sikake-
とを 第三に して 消毒を 第二に し始

tawana: mata hoda nakerana to re nmon dena
めた。 また そうで ないと とれないでな。

ko: saku: motowa ni he nmo kuwa ire qte horeka-
耕作は 昔は 2度も 鍬を 入れて それか

ra ta:suri tanokusano ni beNcumo jaq te go-
ら 田すり 田の草とりの 2へんも やって 5,

goroqpeNcu aruki joqta ma imadewa iqpeNhoka
5, 6ペん (田の中を)歩いた。 もう いまでは 1ペんしか

arukeheN : (笑) hodemo keqko: toreruNdadena
歩かん。 それでも 結構 とれるのでな

sjo:dokusæ: sitokisæ:sureba
消毒さえ しておきさえすれば。

M mukasiwa tanokusa tejoqta ima kusuride
昔は 田の草とり といいおった いまは 薬で

sjuq sjuq to ma kusano haen kusurio makudake-
シェッシェッと 草の 生えん 薬を まくだけで(いい)

de hiedakewa hon demo karen dekanwana donna
ひえ草だけは それでも 結れんわ。 どんな

bujobujiono hiedemo hiedakewa cuoe:dekan
やわらかい ひえ草でも、 ひえ草だけは 強いからいかん。

tanokusa
田の草とり.....

W koto siwa hamaki ga oe:na
今年は はまきが 多いな

M hamaki ora ngatade cokoqto sue de koetoq tara
はまき おれのところでは すこし すでに 肥えていたら

mo: hiqpaq temaqta
もう 引張ってしまった。

W hiqpatemaqta
引張ってしまった.....

M aqci kooqci to
あちらこちらと。

W ci:to toqtemisuto omoqte torinikakaqtara
すこし 取ってみようと 思って とりかけたら

teq a cukaNde oe:cimaqta
手が つかんで やめてしまった。

- M mukasi manga de ⁽⁷⁾ suqkoki oqta ga na:
昔 まんがで すいたが~ な。
- W ora: ano: warasuduri moqteqte na: suqkoe: ⁽⁸⁾
おれは あのう わらすぐりを もっていって なあ すぐ
taruto hæ: nis ja: ni naqt orude ije: zu: qto: ***
と もう さなぎに なっているので 上へ ずっと
- uki aq temaudena
うき上って来てしまうのでな。
- M hon:
ふん。
- W to rerukota to reruked omo temaq kakaqte
とれることは とれるけれど 手間が かかる
sjo: ya næ:
しかたが ない。
- M ho: da doeræ: mon deka sanaka nawa (笑) are mata
そうだ 大きなものを 作らないかん。 あれは また
- cuwoe: de suqko kenwana nakanaka
強いので すけんわな。 なかなか。
- W suqko kinu ky:
すきにくい。
- M ho: dara muqikoki banq aræ: jacu moqtekite
そうだろう 麦こき歯の あらいのを もっていって
- sjuq sjuq to mukasi jaqtakoto yaqar
シュッシュッと 昔 やったことが ある。
- W ho: da manga qte jatsudato e: wana
そうだ まんがと いうのだと いい わな。
- M are sjo: toku taqtato jaqt a hitow a e: wa
あれは 本当に 何度も やった 人は いい。
- W ho: da
そうだ。
- M N: iqpendake ja sokora jaqtam onowa jokeda
うん、 一ぺんかそこら やったものは かえって(ため)だ。

N: c joq te tanbo koet on nowa j o keda
うん、すこし 田んぼが 肥えとるのは それだけ(だめ)だ。

W koet orunowa j o keda ade koet orunon umæ: to
肥えてるのは かえって(だめ)だ。あれで 肥えとるのが うまいと
mi e t e
みえて(うまいらしくて)……

M h N:
ふんふ。

W mu s i N joke joruto mi e t e
虫が よく よるらしくて……

M ho: da are wakun darana
そうだ。 あれ わくのだろうな。

W wakun dawa na:
わくのだ なあ。

M a o m u s i y a a: a n o:
青虫が ああ… あの……

W N de mi N n a n i s j æ: n a q i ma
それで 皆 2才に なっ… いま…

M ma: n i s j æ: n a q
もう さなぎに なっ……

W ma: n i s j æ: n a q c i m a t o r u
もう さなぎに なってしまってる。

M ho: d a r a
そうだろう。

2. 昔 の 祭 り

録音日時 1967年8月28日

録音場所 愛知県小牧市大字藤島

字居屋敷 山田正子氏宅

話し手

(略号)	(氏名)	(性別)	(生年)	(職業)	(居)	住	歴
W	加藤桑三郎	男	明治21年生	農業	藤島のみ		
M	加藤桑三郎	女	23年生	タチ	タチ		
Y	山田達也(編者)	女	大正14年生	教員	藤島1才~8才,名古屋	9才~	

解説: 話は話し手の古老達の若き日の祭の回想である。

1と同じくYは聞き役。

W mukasi wasintora: no wakae: zibunno omacurito
昔 私達の 若い 時分の お祭りと
ju:to nakanaka imato ciqakte se:dæ:to
いうと なかなか いまと 違って, 盛大と
ju:daka gensjukuto ju:daka siranya siNgaku-
いうか 厳肅と いうか 知らないが, しんがく
teqte namo
といって ねえ。

Y 「はあはあ」

W maehikara neqsiNNi sikiga aqte na: siNgaku-
前日から 热心に 式が あって ねえ。 しんがく
to ju:nowa are siNgakuto ju:ka sirant omo-
と いうのは, あれは しがくと いうのか しらと 思
uNda(da) siNgaku siNgakuq tijoqtawa na:
うのだ(が), しんがく, しんがくといった ねえ。

(so) de si Nyakukara ha: doqkano sono zibun
それで しんがくから もう どこかの, その 頃

jomezisiteqte sisiga arijoqte na: hono
よめ獅子といって 獅子が あったものだ ねえ。 その

kaqurao doqkade maqte ary: tekijoqta desu
神樂を どこかで 舞って 歩いていったもの です。

Y 「お祭りは何日ですか。」

M mukasiwa haciqacuno zju: rokunCiya omacuride
昔は 八月の 十六日が お祭りで

si...siNbakuto ju:to N: hiqasino omijano
しんがくと いうと、 うんん 東の お宮の

bondeNjama ya honmacurini naqte hode akuru-
梵天山(?) が 本祭りに なって、 それで 翌日、

hi ano go: no omijasaNga zju: rokunCiya
あの、 郷の お宮様が、 十六日が

omacuride sorede aNta mukasiwa muko:n'o
お祭りで、 それで あなた、 昔は むこうの

hiqasino omijamade o:kina jatæ:o hi:teqte
東の お宮まで 大きな 屋台を 引いていって、

hode muko: de sisimawæ:te kite hode ma:
それで 向うで、 獅子を 舞わせて きて、 それで

akuruhawa mata go: no ho: no omijasaNmade
翌日は また 郷の ほうの お宮様まで

sisimæ: o jaqtari umao dæ:te hasirakæ:tari
獅子舞を やったり、 馬を 出して 走らせたり

site omacurisawaqio mukasiwa jariorimasita
して、 お祭り騒ぎを、 昔は よくやりました。

ma: zunni wakæ: sitoda himan næ:de9)
もう 次第に 若い 人が 暇が なくて。

jomezisino ke:ko nanto ju:to tæ:kokara
よめ獅子の 稽古 と いうと、 大鼓から、

huekara utautæ:kara minna (mma: e) nayo: 笛から、歌い手から、皆 (まえから) 長い

æ:da ke:ko site omacuridakede jarudakeno 間 積古 をして。お祭りに やるだけのことだ

kotode ma: ima no wakæ:sjuwa nakanaka isoda- のに。もう いまの 若い人達は なかなか 忙

site sonna kotoa dekimasende koroqto sutaq- しくて そんな ことは 出来ませんので すっかり すたっ

temæ:ma:sita てしましました。

W hora mukasiwa omacuritju:to gensjukude そりや 昔は お祭りというと 厳肅で,

wakarentju:ya omacurino sihæ:ositoqtan(de) わかれん(若連)というのが お祭りの 支配を していたもので,

hode wakarentju:to nizju:gomade ga wakaren それで 若連というと……, (Mに対して) 25までが 若連

daqtakaka だったのか?

M ho:da そうだ。

W nizju:gomade horekara nineNøa cju:ro:teqt 25まで, それから 2年が 中老といって

namo cju:ro:sju: cju:ro:sju: tijqotawa na: ねえ 中老衆 中老衆 といったものだ ねえ。

nizju:rokuhicino hitoøa cju:ro:sju: hode 26, 7の 人が 中老衆で それで

omacurito naruto minna wakæ: mondemo moq お祭りと なると 皆 若い 者でも 紋……,

moncukibaoride na: hode sikiøa aøete soreo 紋付羽織で ねえ, それで 式を あげて, それを,

sono sikiøa sono mukasino kotonara siqsona その 式が その, 昔の ことで 質素な

to: 9anno ar ja to: 9anda qta na:
冬瓜の、 (M:対てし) あれは 冬瓜 だった なあ。

M (笑)

W to: 9anno si ozukede hode s jake o omikio hiræ:
冬瓜の 塩付で、 それで 酒を、 おみきを 配
te na: hode jadode hitomæ: maqte kondo
って ねえ、 それで 宿で 一舞い 舞って、 今度
b ondensamæ: iqte si N9akuno hidato b ondensa-
ばんでん様へ 行って、 しんがくの 日だと ばんでん様
mæ: iqte mata sitomæ: maqte hode omijæ:
へ 行って、 また 一舞い 舞って、 それで お宮へ
kite maqte horekara mata jadoto ko: ju huni
来て 舞って、 それから また 宿と こういう ふうに
s i s imæ: o jarioqtaa s jo: deNka yprato ju:
獅子舞いを やったものだ。 しょうでん神楽と いう
s i s i o jomezisino ka9urao jarioqtaana hode
獅子を、 よめ獅子の 神楽を やったものだね。 それで
h onmacurito naruto mata soren i qso: kosite
本祭りと なると また それに さらに、
s ono z i buNwa kucj o: to a i esen andade arewa
その 時分は 区長とは 言わなかったから、 あれは
s jo: q s jo: jaka soncjo: (ka)
庄…、 庄屋か。 村長(か)。

M (i ja: na: Nt j o) q tæ: na:
(いやあ 何んとい) ったか なあ。

W imano kucju: s anno kawaridaa na: kono azano
今の 区長さんの 代りだ ねえ。 この 字の
simario sitoru sitono uci: dæ: icini iqte
縛りを している 人の 家へ 第一に 行って
maqte sitomæ: maqte horekara omija: iqte
舞って、 一舞い 舞って、 それから お宮へ 行って

ma qte jadoni deru tokiwa muroNno koto hore-
舞って、宿(を?) 出る 時は 無論のこと それ
kara omijade maqte okanno samano maede maq-
から お宮で 舞って お觀音様の 前で 舞つ
te na: kagurazisida cumari omacurino goci-
て なあ。神楽獅子が つまり お祭りの 御馳
so: dagta (Nda) gaqko: avaruto suquni so: ju:
走だった(のだ)。学校を 終えると 直に そういう
ke:koo saferarete hetanagara maqta kotoo
稽古をさせられて 下手ながら 舞った ことの
oboen aruba
覚えが ある。

Y 「何か面白かったことありませんか。」

M ho: desu na: nakanaka omosiroe: yoto næ: sono
そうです ねえ。なかなか 面白いところで なく、その
curæ:me site oboen narana nade na nagai aida
つらい目を して 覚えなければならなかつたので ね。長い 間、
tae:kowa tæ:kono seN seNse: tanonde ary:te
大鼓は 大鼓の 先…、先生を 頼んで あるき、
honde utautæ:wa utautæ: no tokode jadoo
それで 歌い手は 歌い手の 所で、宿を
ikuc nanbenkade kariten a hode ke:kosita
いく…、なん軒かで 借りてね、それで 稽古を した
a yeku omacurino jo:sariwa mata jadode muka-
うえ、お祭りの 夜は、また、宿で 昔
sino kotonara sibæ:o takunde siq sisisisibæ:-
の ことで 芝居を 計画して し…、獅子芝居 ***
teqte sisio ⁽¹⁰⁾ onnajakuwa sisida kabutoo kabu-
といつて、獅子を、女役は 獅子が 頭(かしら)を かぶ
qte onnajaku jaqte æ:mæ:de mukasiwa sibæ:o
って、女役 やって 相舞いで、皆は、 芝居を

jar i o q t a d e s u w a n a e : やったものですよ。
ええ。

注

1. 昔といま
- (1) [p. 9] 興野は藤島部落のとなりであるが、行政的には丹羽郡岩倉町に属する。
- (2) [p.16] かいこを飼う台。
- (3) [p.16] 夜、桑をやること。
- (4) [p.16] 次にやる分の桑。
- (5) [p.18] 「税金がかかる」の意か。
- (6) [p.20] 「おばあさんがいないとそうはいかない」の意。
- (7) [p.22] 耕作の道具。
- (8) [p. 22] 織をつくるわらをすぐ道具。

2. 昔の祭り

- (9) [p.25] ここに「いまはだめになったが昔は」の意が略されている。
- (10) [p.28] sisio 以下æ: mæ: d e までは「獅子舞をやりました。女役は、獅子役が獅子のかしらをかぶって、女役になり、二人舞いで」の意。

(補注)

1. 昔といま

* (p.21) はまき 稲につく青い、蚕を小さくしたような虫。稻の葉を食う。この虫は糸を出して、稻の葉を何枚か巻き合わせて巣を作る。なお、この虫は稻が肥えているときによく生ずる。

** (p.21)……s u e d e k o e t o q t a r a m o : h i q p a q t e m a q t a
すえで 肥えていたら もう 引張ってしまった。

これは、稻の成育時の終りに稻が肥えていたらはまきが生じて稻の葉と葉とを巣をつくるために引張り合せてしまった という意味である。

*** (p.22) i je: zuq to uki aq temau dena
上へ ずっと うき上ってしまうでな。

上へずっと流けてうき上ってしまうでとりやすいの意。

2. 昔の祭り

*(p.25) 屋台 山車のこと。

**(p.25) よめ獅子 女獅子のかしらをかぶって、大鼓、笛などにあわせやる舞い。踊りの所作がやわらかいとのこと。

*** (p.28) 獅子芝居 二、三人ほどで行う素朴な、所作を中心とした芝居。主なる女役が女獅子のかしらをつけて踊る。主な出し物は阿波の鳴渡、忠臣蔵の三段目、阿漕の平次などであるとのこと。なお、阿波の鳴渡ではお弓が、三段目では、お軽がかしらをかぶる。p.28 の下から 2 行は、女役が女獅子のかしらをかぶって二人舞いを舞う芝居をやったという意。

非 売 品

1968年11月

国立国語研究所 話しことば研究室 発行

東京都北区稻付西山町